シラバス

指定番号 : 295

商号又は名称 : 株式会社 IKG

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになること			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	3	3	—	<講義内容> ・介護人材キャリアパス ・保険給付までの流れ ・保険給付の種類 ・保険給付害事業 <演習実施> ・介護とは 班体制を用いてグループディスカッションを行う
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3	—	<講義内容> ・介護の仕事内容・働く現場の理解 ・介護施設・居宅の実際のサービス現場の具体的な様子 (講師体験談) ・ケアマネジメント ・チームアプローチ
(合計時間数)	6	6	—	

使用する機器・備品等	テキスト 株式会社学研ココファン出版
------------	--------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 : 295

商号又は名称 : 株式会社 IKG

科目番号・科目名	(2)介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、自立予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点およびやってはいけない行動例を理解していること			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	3	1	2	<通信学習課題の内容> ・高齢者の尊厳の保持 ・尊厳の守られた生活 ・アドボカシー ・秘密保持 ・エンパワメント <講義内容> ・人権と尊厳の保持 ・ICF ・ADLとQOL ・ノーマライゼーション ・虐待防止、身体拘束禁止
② 自立に向けた介護	4	1	3	<通信学習課題の内容> ・介護における自立 ・残存能力 ・自己選択、自己決定 ・意欲を引き出す力 ・状態像に基づく支援 <講義内容> ・自立支援 ・介護予防
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2	—	<講義内容> 人権及び人権啓発について
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	テキスト 株式会社学研ココファン出版
------------	--------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 : 295

商号又は名称 : 株式会社 IKG

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解していること ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができること 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2.5	1	1.5	<通信学習課題の内容> ・多職種連携 ・介護、医療の公的資格 <講義内容> ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護実践における連携
② 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・倫理について <講義内容> ・職業倫理
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	1	0.5	<通信学習課題の内容> ・ハザードとリスクの関係 ・労働災害 ・介護事故 <講義内容> ・リスクマネジメント ・ハザードとリスク ・ハインリッヒの法則 ・感染症対策
④ 介護職の安全	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・リスクマネジメント ・介護事故の対応 <講義内容> ・介護職の安全
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	テキスト 株式会社学研ココファン出版
------------	--------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 : 295

商号又は名称 : 株式会社 IKG

科目番号・科目名	(4)介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	介護保険制度や障害自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できること			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・介護保険制度の給付について <講義内容> ・介護保険制度の仕組みと流れ (1回目授業おさらい) ・概要、要支援、要介護、特定疾病 ・財源とサービスの種類
② 医療との連携とリハビリテーション	2.5	0.5	2	<通信学習課題の内容> ・介護、看護 情報共有 ・コミュニケーション <講義内容> ・医行為と訪問介護 ・介護と看護の役割と連携 ・リハビリテーション
③ 障がい者総合支援制度およびその他制度	3.5	0.5	3	<通信学習課題の内容> ・自立支援給付 ・地域生活支援事業 ・障害区分 ・障害者総合支援法 <講義内容> ・障害者総合支援制度
(合計時間数)	9	1.5	7.5	

使用する機器・備品等	テキスト 株式会社学研ココファン出版
------------	--------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 : 295

商号又は名称 : 株式会社 IKG

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は、一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解していること			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・コミュニケーションに関する説明 ・コミュニケーション手段 <講義内容> ・コミュニケーションの基本的ポイント ・コミュニケーション意義、役割、目的、手段、技法、技術 ・介護における記録 <演習実施> ・コミュニケーションの技法の理解 班体制を用いてグループディスカッションを行う
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・コミュニケーションの連携・共有 ・チームコミュニケーションの手段 ・カンファレンスの意義 <講義内容> ・チームコミュニケーション ・記録と報連相
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	テキスト 株式会社学研ココファン出版
------------	--------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 : 295

商号又は名称 : 株式会社 IKG

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解していること			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うところとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・老化現象の共有還俗 ・老化に伴う生理的現象 <講義内容> ・老化と老年期 <演習実施>
② 高齢者と健康	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・高齢者の疾患 <講義内容> ・高齢者の症状疾患の特徴 ・日常生活上の留意点
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	テキスト 株式会社学研ココファン出版
------------	--------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 : 295

商号又は名称 : 株式会社 IKG

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解していること			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・認知症ケアの視点 <講義内容> ・認知症の歴史、パーソン・センタード・ケアの理解
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	<通信学習課題の内容> ・認知症の定義 ・認知症症状 ・認知症の種類 ・BPSD <講義内容> ・医学的側面から見た認知症
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	<通信学習課題の内容> ・認知症の方への対応 <講義内容> ・認知症に伴うこころの変化 ・認知症利用者の対応
④ 家族への支援	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・家族の介護負担の軽減 ・レスパイトケアの種類 ・家族の受容段階 <講義内容> ・介護負担の軽減 レスパイトケア
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	テキスト 株式会社学研ココファン出版
------------	--------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 : 295

商号又は名称 : 株式会社 IKG

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	障害の概念と ICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解していること			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・障害者の法的定義 ・ICF <講義内容> ・障害の概念と ICF ・障害福祉の基本理念 <演習実施>
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・障害の状態について <講義内容> ・主な疾患の理解
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・障害の受容プロセス ・ハード面、ソフト面の社会環境 <講義内容> ・障害の受容支援、介護負担の軽減
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	テキスト 株式会社学研ココファン出版
------------	--------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 : 295

商号又は名称 : 株式会社 IKG

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	① 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を取得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できること ② 尊厳を保持し、その人の自立および自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、その人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得すること			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	2	1	1	<通信学習課題の内容> ・ ICF ・ 生活支援の考え方 <講義内容> ・ 介護の基本的な考え方 ICF の視点 ・ 法律上の規定 <演習実施>
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3	2	1	<通信学習課題の内容> ・ 人の記憶について ・ 生きがいと自己実現 ・ 環境の変化による心理的变化 <講義内容> ・ 学習と記憶 ・ 感情と意欲 ・ 自己概念について
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	4	1	<通信学習課題の内容> ・ 人体の名称 ・ 関節運動や筋肉について ・ 人体力学 ・ 呼吸器の構造 <講義内容> ・ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ・ 骨、関節、筋肉 ・ 中枢神経 自立神経と内部器官 ・ バイタルサイン ・ ボディメカニクス ・ 麻痺・拘縮
④ 生活と家事	7.5	7	0.5	<通信学習課題の内容> ・ 生活援助について ・ 調理について <講義内容> ・ 家事援助について ・ 買い物や家計管理 ・ シーツのたたみ方 ・ ベッドメイキング <実習> ・ シーツのたたみ方 ・ ベッドメイキング シーツのかけ方 ・ 体位変換 ・ シーツ交換 ・ 起き上がり
⑤ 快適な居住環境整備と介護	3.5	3	0.5	<通信学習課題の内容> ・ 家庭内の環境整備 ・ 介護保険制度 住宅改修 <講義内容>

				<ul style="list-style-type: none"> ・快適な環境づくり ・環境整備 ・居室の環境整備 ・福祉用具について パンフレット活用
⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7	1	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服着脱の介助の原則 ・着脱の方法 <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整容とは ・衣服の役割 ・洗濯 ・清拭 <p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドメイキング ・立ち上がりの方法 復習 ・着脱介助 座位・臥位 前開き・丸首・ゆかた ・全身清拭
⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7	1	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の歩行の特徴 ・体位変換 ・褥瘡 <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動の意義 ・車いすの各名称、点検方法 ・移動に関連する福祉用具 ・歩行介助 <p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす開閉 ・車いす介助 平地、段差 ・移乗介助 ベッド⇄車いす ・歩行介助 片麻痺、視覚障害
⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7	1	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤嚥 ・低栄養 <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の意義と目的 ・調理 ・食事介助について ・口腔ケア、義歯 <p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドメイク ・水分補給 ・食事介助 ・口腔ケア
⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7	1	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・浴室の環境整備 <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔の意義 ・入浴時の福祉用具 ・緊急時の対応 ・部分欲 ・陰部洗浄 ・ベッド上での洗髪方法 <p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・足浴 ・手浴 ・清拭
⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8	7	1	<p><通信学習課題の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄の介護について ・排泄に関連したからだのしくみ <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄とは ・排泄介助の基本の視点 ・排泄に関わる福祉用具

				<ul style="list-style-type: none"> ・排泄のメカニズム <実習> ・尿器・差し込み便器 ・ポータブルトイレ介助 ・オムツのあて方 ・オムツ交換
⑪ 睡眠に関連したところから からだのしくみと自立に向けた介護	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <通信学習課題の内容> ・安眠と不眠 ・睡眠障がいについて <講義内容> ・睡眠とは ・睡眠障害 ・睡眠の阻害要因 <演習実施> ・不眠時の対応等、睡眠についてグループディスカッション
⑫ 死にゆく人に関連したところから からだのしくみと終末期介護	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <通信学習課題の内容> ・終末期のからだの変化の特徴 ・終末期ケアについて <講義内容> ・ターミナルケアとは ・死に向き合う高齢者の心理 ・死への支援
⑬ 介護過程の基礎的理解	4	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <通信学習課題の内容> ・介護過程の流れ <講義内容> ・要介護認定の流れ 復習 ・介護の展開 ・介護過程の流れ
⑭ 総合生活支援技術演習	6	6	—	<ul style="list-style-type: none"> <講義内容> ・演習の目的と流れについて <演習実施> ・事例をもとに、介護過程の展開 情報収集、分析、手順、実施
(合計時間数)	77	65	12	

使用する機器・備品等	テキスト 株式会社学研ココファン出版
	4 ベッド、ベッド柵、シーツ、枕
	5 福祉用具パンフレット
	6 ベッド、ベッド柵、シーツ、枕、前開き上着、ズボン、丸首スウェット、浴衣、タオル バスタオル
	7 ベッド、ベッド柵、シーツ、枕、車いす、杖、白杖、パレット（段差）
	8 ベッド、ベッド柵、シーツ、枕、ガーグルベースン、とろみ剤、自助具（スプーン、フォーク）
	9 浴槽、足浴用バケツ、洗面器、タオル、レジャーシート
	10 ベッド、ベッド柵、シーツ、枕、オムツ（テープタイプ、パンツタイプ、パット）、差し込み便器、 ポータブルトイレ、トイレトペーパー、バスタオル、タオルケット

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 : 295

商号又は名称 : 株式会社 IKG

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかること			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2	—	<講義内容> ・全科目・項目の復習
② 就業への備えと研修修了後における事例	2	2	—	<講義内容> ・就業時のところがまえ
			—	<修了評価> ・筆記試験実施
(合計時間数)	4	4	—	

使用する機器・備品等	テキスト 株式会社学研ココファン出版
------------	--------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。